

卒業生からのエール

60年余の歴史を有する琉球大学は、学生が自分自身で考え、様々なことにチャレンジできる学び舎。卒業後多彩な活躍をみせるOB・OGの先輩たちから、学生の皆さんへ応援メッセージが届きました。

様々な学びを通して、
将来の道標を探す四年間。
学校+αの経験が要です。

Under Graduate



ひらき

開(比嘉)梨香

株式会社カルティベイト 代表取締役社長
1983年 法文学部 社会学科 卒業

琉球大学在学中は、歴史ある首里キャンパスから現在の千原キャンパスへの移転が行われていた時期でした。移転完了までの間、原付バイクで2つのキャンパスを行き来して授業を受けたことを今でも覚えています。

大学時代は、法文学部の社会学科で広報学を専攻。将来はマスコミに関わる仕事がしたいと考え、1年生の頃から琉球放送でアシスタントディレクターとして経験を積みながら大学へ通いました。私は昔から「机上での勉強より、現場での実践を!」という気持ちで活動していました。3年生の頃には沖縄と長野の子どもたちの交流事業を実施。その後はアメリカでの音楽交流・ミュージックキャンプを企画しました。学生時代の4年間で、“やりたいこと”をかたちにする喜びと交流によって輝く「人間」の可能性を目の当たりにした気がします。

卒業後は縁あって、インテリア会社を経営後、大手ディスプレイ会社の現地法人代表として県内の文化施設・リゾート施設・空港の内装や展示を統括する仕事をしました。その後も様々な経験を積み、現在代表を務める「カルティベイト」を設立。人材育成から観光マーケティング、地域活性化支援に至るまで、自分自身が培ってきたネットワークを生かして多様なプロジェクトに携わっています。1人ひとりが持っている個性や能力を引き出し、人と人と結びつけ地域や事業をプロデュースすることが私の得意分野であり、果たすべき使命だとも考えています。

大学時代は最も自由な時代。大学での学び+αを大切に、海外留学やボランティアなど積極的に人生経験を積み重ね、たくましい「人間力」を身につけてください。



多岐に渡る分野でプロデュースを行い、人と社会を結んでいる。



本学内で行われた、観光と地域振興をテーマにした公開フォーラムにも参加。「小さい島の挑戦」と題して地元へ根付いた報告を行った。